

令和7年度事業報告

公益社団法人 八王子市シルバー人材センター

【概要】

令和7年度は、公益法人改革に基づく改正法令の施行や最低賃金の上昇、物価高騰、事務所移転後の新たな運営体制の確立など、外部環境の大きな変化に直面する一年となりましたが、組織体制の強化と事業拡大の両面で着実な前進を図ることができました。

6月の定時社員総会では改正法令に対応したガバナンス強化の一環として外部理事・外部監事を選任し、情報管理体制の充実に向けた研修も実施するなど、法人としての透明性と自立性の向上に努めました。また、本部事務所を並木町へ移転し、新たな環境下での事業運営を開始するとともに、会員の利便性維持・向上のため八王子駅前に「えきまえサポートセンター」を開所し、相談・書類受付機能の強化を図りました。

事業面では、最低賃金上昇に伴う配分金単価の増加などの影響もあり、請負・派遣とともに前年を上回り、総額で約9億5,100万円となりました。これにより、前年比で約4,700万円の事業実績増を確保しました。

一方で、過去の大口受注終了や、植木剪定、清掃作業などを希望する会員の不足による受注機会逸失といった課題も顕在化したことから、就業開拓拡充プロジェクトチームを立ち上げ、新規事業の検討や会員拡大に向けた取組を進めました。さらに、事務局職員が企画した新規事業「銀の声」がグッドデザイン賞を受賞し、今後の事業展開に向けた新たな可能性を示す成果となりました。

会員数は近年の減少傾向の歯止めがかからず、令和7年度は94名減と大きく減少し、そのうち多数が男性会員の減少であるという課題として浮上しました。会員の高齢化が進む中で、80歳以上の会員でも安心して就業できる環境整備の重要性が一層高まっています。

また、就業に伴う事故は依然として高い水準で推移しており、シルバー保険事業室へ報告された事故件数は、傷害事故が36件、賠償事故が5件となりました。特に傷害事故件数は過去最多となったことから、事故報告書の提出義務化に加え研修の強化、安全巡回パトロール実施など、安全就業に向けた取組を継続してまいりました。

さらに、令和8年度に迎える創立50周年に向けて、記念事業実行プロジェクトチームを中心に企画検討を進め、市民・企業への認知向上と会員の就業意欲向上につながる取組の準備を進めました。

加えて、センターの活動理念でもある地域貢献活動として、いちよう祭りでの清掃ボランティア、市地域事務所環境整備、市民センター祭り参加、フードバンク活動における食品寄贈など、さまざまな活動を継続して実施し、令和6年度以上に多くの会員が

参加・協力したことで、地域社会とのつながりを一層深めました。

これらの取組を通じ、当センターは社会貢献を基本におき、地域社会における高齢者の活躍の場を広げるとともに、公益法人としての使命を果たしつつ、持続的な発展に向けた基盤強化を図る一年となりました。

【事業実施状況】

令和7年度は作成した事業計画及び第4次中期5カ年計画に基づき、社会情勢の変化や組織体制の改善に対応しながら以下のとおり事業を実施した。

1 普及宣伝活動

- ①広報紙の発行「生きがい八王子」2回、「おおるり」12回「おおるり特定職場特集号」2回を発行して事業のPRに努めるとともに情報の提供を行った。
- ②毎月2回事務所内に就業情報(毎月10日と25日)の掲示及び配布を行った。
- ③会員専用オンライン情報サービス「Smile to Smile」の登録と活用を推進した。
- ④引き続き「市役所正面玄関デジタルサイネージ看板」「広報はちおうじ」「八王子駅前マルベリーブリッジ横断幕」「ごみカレンダー広告掲載」で啓発を図った。
- ⑤公式ホームページの情報を更新し、広く市民、会員に向け周知を図った。
- ⑥以下のイベントを開催、または参加した。

●事務所オープニングイベント

- ・主催者 八王子市
- ・実施日 4月5日(日)
- ・場所 旧八王子市横山地域事務所

●はちおうじ NPO フェスティバル2025

- ・主催者 八王子市市民活動支援センター
- ・実施日 8月24日(日)
- ・場所 東京たま未来メッセ

●シニアしごと EXPO2025

- ・主催者 東京都
- ・実施日 10月21日(火)
- ・場所 東京たま未来メッセ

●シルバーフェア2025

- ・主催者 公益社団法人 八王子市シルバー人材センター
(ボランティアセンターとの共同企画、いちょう祭りと同日に開催)
- ・実施日 11月15日(土)・16日(日)
- ・場所 横山本部事務所

●第5回地域デビューパーティー802

- ・主 催 者 地域デビューパーティー802 実行委員会
- ・実 施 日 3月15日(日)
- ・場 所 八王子学園都市センター 12階

2 調査研究

未就業会員を減らすため、新入会員全員から就業希望職種をヒヤリングし、明確な希望先がある場合には職種班を紹介しつつ、希望職種の傾向から就業開拓の方向性を検討した。

またセンターが抱える様々な課題に対応するため、理事会直下のプロジェクトチームを編成し、先進センターへの視察やアンケート調査を実施して課題の把握と改善策の検討を進めた。

3 相 談

① 入会説明会について

事務所移転後も入会希望者の利便性を考慮し、引き続き入会説明会及び入会面談を交通の便が良い大横保健福祉センターで実施した。また、東部交流室での実施も7月まで継続した。直近では、オンラインにある入会説明会動画を視聴する参加者が増加している傾向にある。

こうした状況を踏まえ、指定日時に参集形式で実施する入会説明会は10月をもって終了し、11月以降はWEBでの動画視聴を基本とする運用へ移行した。なお、インターネット環境がない市民については、横山本部、えきまえサポートセンター、東部交流室の各受付窓口に来所いただき、随時動画視聴ができる体制を整えた。

② 入会面談について

理事及び事務局職員による入会希望者との個別面談を実施し、申込書類の確認や希望する職種など個別の状況についてヒヤリングの他、個別質問等に対応した。

<令和7年度 入会説明会等参加者、入会者>

会 場	参 加 者	入 会 者
大横保健福祉センター (10月まで)	147人	142人
東部交流室(7月まで)	18人	14人
各窓口での動画視聴	88人	23人
WEB 入会動画視聴	201人	173人
合 計	454人	352人

※ 説明会参加から入会までの時間差により、入会者数には過年度の参加者も含む。

③ イベント時の入会促進活動

シルバーフェアや各地域の市民祭りなどへ参加し、当センターのPRを実施。その場で入会希望者に具体的な手順の説明を行った。

4 就業機会の開拓及び提供

会員の就業率を高め、より多くの「生きがい」づくりに寄与するとともに地域社会への貢献を目的として就業機会の開拓及び提供を実施した。

- ①就業機会の開拓のため、引き続き就業開拓専門員1名を配置し、新規事業立ち上げのための企業訪問、研修参加等での情報収集、付随する事務処理などを専門的に実施した。また就業開拓拡充プロジェクトチームを設置し、植木や清掃など注文の依頼が多い既存事業への会員増強についての検討や、他市先進センターを参考に教室事業の立ち上げを企画した。
- ②毎月10日と25日に募集中の就業情報を作成、窓口配架のほか、Smile to Smile やホームページ上に公開することで、希望会員を広く募集した。また申込に対し就業会員選考会議を実施し、公平な人選に努めた。
- ③請負契約では受注が困難である業務も、派遣契約により受注が可能であることを顧客先に説明し、派遣実績の増加に努めた。
- ④11月に役員及び就業開拓員による顧客訪問活動を実施。継続発注者へのお礼とヒヤリング等を実施した。
- ⑤就業者のマッチングが難航した際などに地域連絡員へ相談を行い、地域班協力のもと未就業会員から適任者の選任を行った。
- ⑥市民及び会員を対象として英会話教室・筆耕教室・パソコンお助け隊を開催した。
- ⑦東部交流室を拠点として、筆耕関連書類や事務文書の受け渡しなど発注者・会員の利便性を向上させた。またパソコン教室、英会話教室、ウクレレ同好会、エアロビ健康体操、写経などを開催した。
- ⑧八王子市福祉部高齢者いきいき課と連携し、請負・派遣での就業機会拡大に向けて各所管課へのアプローチを行った。また、ボランティア要素を含む就業研修場所の提供など、公益活動の実施に関してご支援をいただいた。
- ⑨特定職場制度を継続し、希望者の多い就業先については3年の就業継続期限を設け、公平な就業機会の提供に努めた。
また、交替のタイミングを昨年度と同様に10月とし、年度切替えのタイミングで発注者の混乱を招くことがないよう努めた。
- ⑩ハローベビーサポート(産前・産後サポート事業)の強化を目的とし、会員に対して希望を募り、介護系や家事援助業務を含む組織化を引き続き検討した。
- ⑪東京しごと財団やハローワークなどからの就業支援講習案内やシルバー人材センター以外の就労情報を開示し、高齢者の広域的な就業機会拡大に努めた。

5 会員の増強

より多くの市内高齢者が生きがいや収入を得られる機会を提供するため、就業機会拡大を図るとともに、会員数増加のために普及宣伝活動や関係団体との連携事業を複数実施した。

- ①いちょう祭りや各地区市民センター祭り等に理事が中心となって参加し、新入会員勧誘に努めた。
- ②「おおるり」に会員募集の記事を毎号掲載し、閲覧者への協力を要請した。
- ③公式ホームページからの入会希望者を増やすためセンターの活動内容や魅力を伝えられるよう定期的な更新を行った。
- ④イベント参加や広報活動を通じて会員募集に努めた。
- ⑤同居するボランティアセンターをはじめ、他団体との連携を深め、情報交換や交流、イベントの共同実施などにより認知度向上に努めた。

6 第4次中期5カ年計画に基づく目標に対する成果(請負+派遣)

	中期計画に基づく 目標値	令和7年度成果	令和6年度実績
会 員 数	2,700 人	2,456 人	2,550 人
就 業 率	80.1%	79.9%	76.5%
契 約 金 額	902,353 千円	951,384 千円	904,151 千円
ボランティア参加人員	20,274 人	26,301 人	23,774 人

※当年度入会会員の就業実績

入会会員 352 人のうち、就業会員 175 人、未就業会員 177 人

① 事業実績 (請負)

公民別	年 度	受託件数	延実人員	延日人員	契 約 金 額
公 共	令和7年度	562 件	13,957 人	69,115 人	370,002,874 円
	令和6年度	564 件	17,297 人	74,352 人	354,589,706 円
民 間	令和7年度	9,582 件	19,647 人	77,816 人	447,054,912 円
	令和6年度	9,752 件	19,145 人	74,680 人	421,729,492 円
合 計	令和7年度	10,144 件	33,604 人	146,931 人	817,057,786 円
	令和6年度	10,316 件	36,442 人	149,032 人	776,319,198 円

② 事業実績（派遣）

公民別	年 度	受注件数	延日人員	契 約 金 額
公 共	令和7年度	9 件	2,917 人	28,908,464 円
	令和6年度	10 件	2,855 人	27,258,670 円
民 間	令和7年度	140 件	14,779 人	105,417,982 円
	令和6年度	143 件	14,292 人	100,573,352 円
合 計	令和7年度	149 件	17,696 人	134,326,446 円
	令和6年度	153 件	17,147 人	127,832,022 円

7 研修・講習・会議の開催及び参加

事業理念、目的を踏まえた研修や能力開発により就業機会を拡大するため、役員・会員、事務局職員が講習・研修・会議に参加した。

ア. (公財)東京しごと財団及び(公社)全国シルバー人材センター協会主催

研修・講習・会議名	日 程	参加人数
新任事務局長研修	4月16日	職員 1名
新任職員研修	4月25日	職員 1名
損害賠償事例説明会	7月4日	職員 1名
シルバー人材センター実務担当者会議	7月22日	職員 1名
自主事業勉強会	7月23日	職員 1名
安全リーダー研修	7月25日	役員 1名
新任主任研修	7月31日	職員 1名
菜園教室勉強会	8月26日	専門員1名
シルバー人材センター昇任選考研修	9月16・17・19日	職員 1名
財団理事長講話	9月18日	職員 1名
魅力的なサロンの作り方	9月24日	職員 1名
派遣コラボ研修	9月24日	職員 1名
資産形成セミナー	10月15日	職員 1名
東京シルバー50周年フェス	10月23日	役員 4名 職員 4名
人権研修	10月28日	職員 1名
キャラバンメイト研修	11月5日	職員 2名
生活支援サービス研修③	11月4日～17日	会員 5名

自転車安全利用講習会	11月13日	会員 1名 職員 1名
ライフプランセミナー研修	11月18日	職員 3名
昇任選考試験	11月19日	職員 1名
生活支援サービス研修(調理)③	11月21日	会員 4名
自主事業フォローアップ勉強会	11月21日	職員 1名
クレーム対応研修	12月9日	職員 1名
就業支援講習ステップアップ待遇Ⅰ	12月10日	会員 2名
家事援助サービス研修②	12月11日・12日	会員 3名
決算実務研修	1月15日	職員 1名
就業開拓研修	1月19日	職員 2名
生活支援サービス研修(家電・洗剤)③	1月20日・21日	会員 3名
総会運営	1月28日	職員 1名
就業支援講習ステップアップ待遇Ⅱ	2月17日	会員 3名
中堅職員研修	2月17・18日	職員 1名
転倒予防研修	2月18日	役員 1名
家事援助担当者研修	2月19日	職員 1名
関東ブロック会長会	2月26日	役員 1名
生活支援サービス研修④	3月3日～13日	会員 2名
しごと財団事務局長会議	3月18日	職員 1名

イ. 第7ブロック主催によるもの

研修・講習・会議名	日 程	参加人数
事務局長会	12回(毎月)	職員 1名
実務担当者会議	8回	職員 1名
先進センター視察(日野市 SC)	8月1日	役員 1名 職員 1名
新契約方式担当者研修	8月8日	職員 1名
職員研修「防災」	10月10日	職員 2名
安全就業研修会	10月16日	役員 1名 職員 1名
職務担当者研修「除草」	10月31日	職員 1名
会長・理事長会議	11月5日	役員 2名
職員交流研修(町田市 SC)	11月25日	職員 1名
短期研修派遣(日野市 SC)	1月13～23日	職員 1名
職務担当者研修「安全管理」	2月25日	職員 1名

ウ.その他の研修等

研修・講習・会議名	日 程	参加人数
情報セキュリティ研修	7月16日・ 3月11日	合計123名
派遣元責任者講習	7月18日	職員 1名
グッドデザイン賞受賞式	11月4日	役員 1名 会員 1名 職員 1名
入会3年目研修	1月21日	会員 41名
派遣元責任者講習	2月6日	職員 1名
協会けんぽ研修	2月20日	職員 1名
日本認知症官民協議会総会	3月5日	会員 1名 職員 1名
植木班研修会	3月15日	会員 20名
会員向け「植木講習会」	3月18日	会員 12名

8 総会、理事会、常任委員会の開催及び組織活動

会員全体の組織活動を推進し、自主・自立、共働・共助の発展に努めた。

①定時社員総会 令和7年6月20日(金)開催

②理事会(臨時理事会含む) 13回

③四役会会議 12回

理事会開催に先立ち重要事項の整理や議事進行の円滑な運営のため開催した。

8月から、よりスムーズな意見調整のため常任委員会委員長を含め、拡大四役会を開催した。

④常任委員会

○総務委員会 12回

センター運営の基盤強化に取り組み、個人情報管理では取扱基準と名簿管理マニュアルを整備した。さらに、情報セキュリティ研修の実施や注意事項を記載した受講カードの配布、セキュリティ月間の設定など多様な取組で啓発を進めた。

また、事務所オープニングイベントやシルバークフェア2025、入会3年目研修などの事業を実施した。

新契約方式(三者間包括契約)については、税制改正の動向を踏まえつつ当面は現行方式を継続し、次年度以降の対応を検討している。

さらに、ポイント制度については公平性や運用方法を再整理し、他市の事例も参考にしながら再構築に向けた検討を進めた。

女性ワーキングチームの役割は就業開拓拡充プロジェクトチームに引き継ぎ解散することとした。

○業務安全委員会 12回

各職種班からの事前報告方式を導入し、班ごとの課題や取組を共有する体制を

整えた。配布班のリーダー不在への対応、植木班の高齢化に伴う運搬班設置の要望、除草班の独自 KY シートの活用、刃物研ぎ班のサービス券紹介など、各班の状況や改善点を委員会で確認しながら運営に反映した。

また、事故件数の増加を受け、事故報告書の作成方法を明確化し、再発防止に向けた取組を強化した。

さらに、安全標語の選定や啓発資料の活用、顧客満足度調査の準備、市施設でのボランティア活動調整など、安全就業と組織運営の両面から環境整備を進めた一年となった。

○地域委員会 12回

各地区での会議開催や研修、懇談会、地域清掃などの活動を継続し、会員支援と地域交流の充実に努めた。市施設環境整備ボランティアでは参加状況や指示体制に課題が見られ、反省会やアンケート導入、来年度計画の早期策定など改善に向けた取組を進めた。いちよう祭り清掃など地域行事にも積極的に参加し、地域貢献を継続した。

また、連絡員体制の見直しに向けワーキングチームを設置し、訪問カードやマニュアルの整備、新人連絡員研修など標準化を進めた。

個人情報管理やスマスマ登録促進、セキュリティ研修など情報管理体制の強化にも取り組み、次年度に向けては地区会議の時期や議事録様式の統一、地区委員会の新設、懇親会の計画的実施、50周年記念事業への協力体制整備など、運営の効率化と活動の見える化を図る方針である。

○広報委員会 12回

広報誌「生きがい八王子」を年2回発行し、1月新年号では「シルバー50周年特集」を掲載した。ホームページについては、会長挨拶や役員一覧の更新、年度替わりの情報整理を行い、アクセス状況の分析も継続した。またトップページのスライドを50周年仕様に変更した。

外部イベントでは、「シニアしごと EXPO2025」「東京都シルバー連合会50周年記念イベント」「地域デビューパーティー802」などに参加し、地域とのつながりづくりや情報発信に努めた。

あわせて、50周年記念イベントに向け、展示パネルの更新、メッセージカード作成などの準備を進め、記念イベントに向けた広報面の整備を行った。

⑤就業開拓拡充プロジェクトチーム

令和7年度事業計画の重点項目として掲げる就業機会の確保・拡大について、課題の整理と対策を検討するためプロジェクトチームを立ち上げた。

まずは、植木班の会員減少による実績減への対応と、今後期待される新規事業創設などを検討した。

⑥50周年事業実行プロジェクトチーム

令和8年度が当センター創立50周年にあたるため、周年事業実施について検討のためのプロジェクトチームを設置。記念誌の作成や記念ロゴ、イベント実施等について検討を重ねた。

⑦役員報酬制度検討プロジェクトチーム

(公財)東京しごと財団の助言を踏まえ、令和7年6月の総会において役員報酬制に関する規程を整備した。これを受け、これまで総務委員会ワーキングチームで検討してきた役員報酬制度については、重要度を高めて理事会直下のプロジェクトチームへ再編し、令和8年度7月からの導入に向けて検討を継続した。

⑧組織運営検討プロジェクトチーム

役員報酬制の導入に向け、理事の役割と責任を明確にし組織運営を活性化させる必要があることから、理事選考方法の見直しや理事候補者の育成、理事会運営の再構築、常任委員会の機能強化といった課題に総合的に取り組むため、組織運営プロジェクトチームを発足し検討を開始した。

⑨DX推進プロジェクトチーム

「ペーパーレス推進プロジェクト」として総務委員会および業務安全委員会にまたがる下部組織で活動していたが、センター全体の事務効率化を推進するため、理事会直下のDX推進プロジェクトチームとして再編成し、Smile To Smileの普及促進や「おおり」「生きがい八王子」のデジタル化など、IT化を推進した。

その結果としてSmile To Smileの普及率は50%を越え、登録支援を継続して実施した。

⑩顧客訪問活動検討プロジェクトチーム

当センターが実施してきた顧客訪問活動について多くの課題が確認されたため、令和8年度に向けて実施形態の見直しと制度の再構築を進める組織として顧客訪問活動検討プロジェクトチームを立ち上げ、3月より検討を開始した。

⑪職種班活動

各職種班において定期的に会議を開催し、就業先の開拓や技能向上、後進育成のための研修計画の立案及び実施、安全就業のための課題解決に努めた。

⑫きさらぎ小委員会

広報委員会の下部組織として記念品の作成や、会員だけでなく市民も参加可能な各種教室等を企画、実施し、センターのPR活動の一端を担った。

9 安全対策

「安全はすべてに優先する」をスローガンに掲げ、センター活動のみならず、会員が安全に生活できるよう情報提供を実施した。

①業務安全委員会を毎月開催し、事故報告の共有や就業時の安全対策について検討した。

②安全衛生委員会での健康状況確認

月1回の安全衛生委員会にて、産業医の勝田医師(医療法人社団三真会勝田医院)から健康状態に関するご指導をいただいた。

③安全巡回の実施

安全巡回を11回実施。全国的に事故が多い植木・除草作業や、実際に事故が発生した就業現場を安全管理委員が訪問し、現状の確認と安全指導を実施した。

④熱中症対策

令和7年6月1日の労働安全衛生規則改正を受け、従来の注意喚起に加えて、熱中症の早期発見体制を整備するための対応として、熱中症対応フローチャートを作成し発注者・会員へ周知するとともに、外作業を行う会員へ熱中症指数計の貸与を実施した。

10 ボランティア活動

地域委員会を主体とし、以下のとおり様々なボランティア活動を実施した。

また、八王子市福祉部高齢者いきいき課・高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)と連携した、地域で発生する独居高齢者宅の異変等を迅速に報告する「見守り活動」を行うことで事故防止に努めた。

ボランティア名	日 程	参加人数
市契約配布業務時見守り	通年	25,965 人日
東部交流室周辺歩道清掃	5月7日・10月20日	14名
東部みんな de 参加祭り	10月13日	20名
八王子流鏝馬会場支援	10月4日～6日	25名
別所子どもまつり手伝い	10月25日	3名
青少対清掃参加	6月26日・9月27、28日・ 10月25日・12月20日	合計13名
社会奉仕活動環境整備	9月24日	164名
	9月27、28日・11月1、2、 8、9日・3月8日	49名
いちよう祭り清掃	11月15日～17日	42名
東京マラソン祭り	3月2日	6名
フードバンク・子ども食堂支援	随時	-

11 その他の事業、同好会等活動

名 称	日 程
高尾山を登る会	5月27日・12月16日・3月20日
パソコン・スマホ教室	4月～3月
英会話教室	4月～3月
すみれ会書道教室	4月～3月
ウクレレ同好会	4月～3月
エアロビ健康体操	4月～3月
写経	4月～3月
あすなろカラオケ同好会	4月20日
シルバーさつき会(ダベリング)	5月29日・10月23日・3月25日